

ごあいさつ

当社では、持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて、投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様へ、より一層ご理解を深めていただけるよう、統合報告書を毎年発行しています。

「AICHI STEEL REPORT 2024」では、当社が社会に提供する価値をベースに、2030年ビジョンを実現するための戦略や、それを支える財務・非財務の強化策などを具体的に掲載しています。本報告書を通じて、創業の時から今日まで、そして未来においても、「世のため、人のため」「お客様のため」との想いを紡ぎ続け、素材で社会課題を解決する企業であることをご理解いただけますと幸いです。

当社は引き続き、ステークホルダーの皆様への正確な情報の適時・的確な開示と積極的な対話に努めていきます。本報告書が、企業価値の向上に向けてより有用なコミュニケーションツールになるよう、皆様からの忌憚のないご意見・ご要望をお待ちしています。



代表取締役会長
藤岡 高広

代表取締役社長
後藤 尚英

理念体系

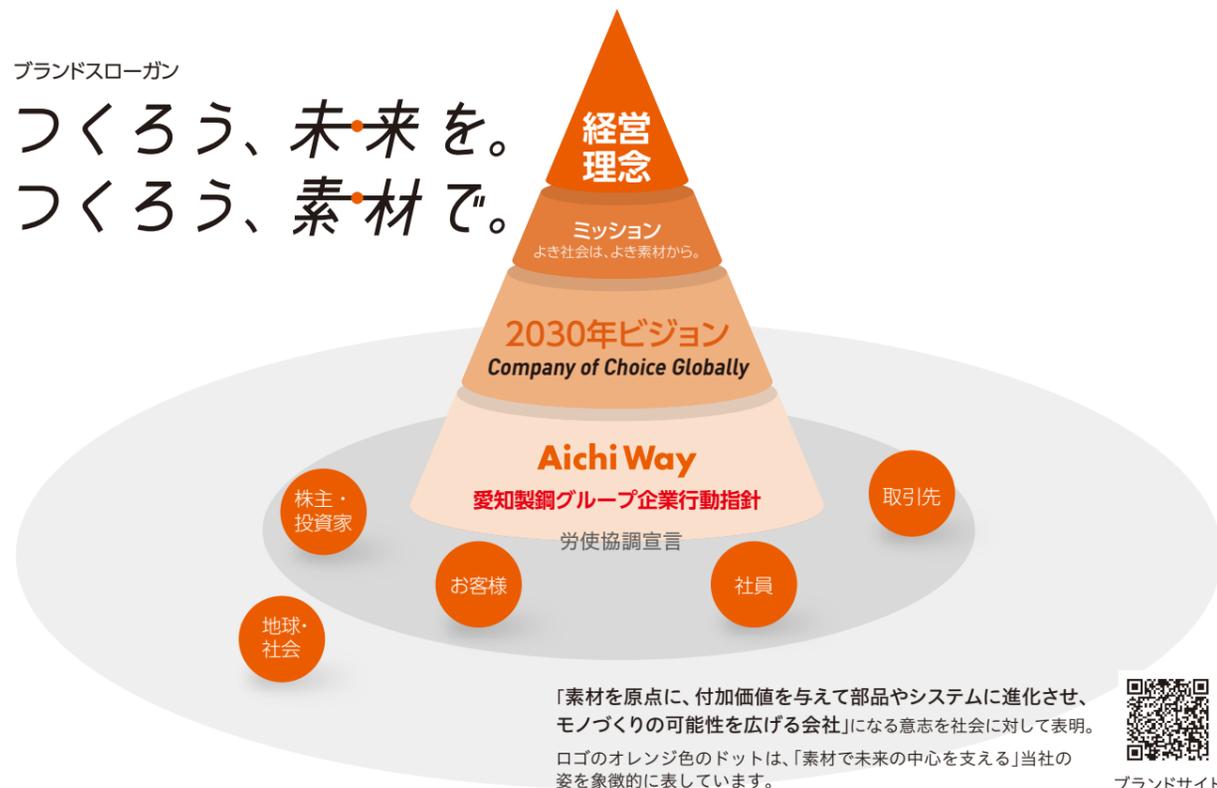
経営理念

国際的視野に立ち、活力に溢れ、信頼される企業体質をもとに、魅力ある商品を提供することによって社会に貢献する。

- 1 研究と創造につとめ、常に時流に先んずる。
- 2 相互の信頼と理解のもとに、一致協力する。
- 3 責任ある判断と行動のもとに、常に最善を尽くす。

ブランドスローガン

つくるう、未来を。
つくるう、素材で。



目次

イントロダクション

- 01-02 愛知製鋼グループのサステナビリティ
- 03-04 ごあいさつ/理念体系/目次/編集方針

価値創造ストーリー

- 05-10 トップメッセージ
- 11-12 愛知製鋼のあゆみ
- 13-14 事業と強み
- 15-16 価値創造プロセス
- 17-18 財務・非財務ハイライト

価値創造の戦略

- 19 2030年ビジョン/2021-23年度中期経営計画の振り返り
- 20-22 2024-26年度中期経営計画
- 23-24 コーポレート部門マネジメントメッセージ
- 25-26 財務戦略
- 27-28 鋼カンパニー
- 29-30 ステンレスカンパニー
- 31-32 鍛カンパニー
- 33-34 スマートカンパニー
- 35-36 研究開発・知的財産
- 37-38 重要課題(マテリアリティ)

サステナビリティの取り組み

- 39-42 気候変動への取り組み
- 43-44 環境マネジメント/資源循環/生物多様性
- 45-46 ダイバーシティ&インクルージョン/人材育成
- 47-48 人権尊重の取り組み
- 49-50 品質・生産
- 51-54 健康・安全/ステークホルダーとの関係
- 55-60 コーポレートガバナンス
- 61-62 社外取締役メッセージ/取締役・監査役一覧
- 63-64 リスクマネジメント/コンプライアンス

会社データ

- 65-66 主要財務データ
- 67-68 企業情報/株式情報

編集方針

本報告書は先の見えない不透明な時代においても、愛知製鋼グループが事業を通じて社会課題を解決し持続的に企業価値を向上するために「何を目指し」、「何を課題と捉え」、「何に取り組むのか」を、業績や経営戦略などの財務情報に加え、成長を支える基盤としての見えない資産である非財務情報についてもわかりやすく伝えることで、愛知製鋼グループの中長期的な成長性をご理解いただくことを目的としています。

会計基準

2019年度以前は日本基準、2020年度以降は国際財務報告基準(IFRS)に準拠しています。

対象読者

本報告書は、株主・投資家の皆様、お客様、お取引先様、そして従業員・関係会社の皆様を主な読者として想定しています。

期間・範囲

本報告書は、主に2023年度(2023年4月~2024年3月)における愛知製鋼グループの活動を対象としていますが、必要に応じて一部対象期間外の内容も紹介しています。

報告書/レポート体系



参照したガイドライン

- ・GRIスタンダード
- ・国際統合報告フレームワーク(IIRC)
- ・ISO26000(社会的責任に関する手引き)

【見通しに関する記述についての注意事項】

本報告書のうち業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、内在する不確定性および今後の事業運営や内外の情報変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。